

平成28年度
教育部 組織目標設定シート

組織の方針				今年度の目標設定
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	
組織の基本方針又は使命 京田辺市の教育は、活力とうるおいのある未来をつくるため、確かな見通しを持って主体的に生き抜く、創造性あふれる心豊かな人間の形成を目指すものである。 そのため、学校教育、社会教育、社会体育の密接な連携を進め、子ども達の豊富な社会体験を通して人間形成に努めるとともに、市民の生涯にわたる学習活動を推進し、地域に即した教育活動の活性化のために一層の努力を図る。	組織の課題のうち今年度取り組むものを優先順に 1.複合型公共施設における文化施設機能の検討 2.幼保一体サービスの提供に向けた施設整備の調査・研究 3.不登校対策 4.子どもの貧困対策 5.学校、幼稚園施設の維持管理	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか ・京田辺市文化振興計画において掲げられている「文化ネットワークの中心となる新たな文化施設の整備」に向けて、必要な文化機能の調査・検討を行う。 ・幼稚園施設の老朽化や将来的な少子化の進展を見据え、福祉・教育の枠組を超えた対応が求められており、幼保一体サービス提供について調査・研究を行う。 ・出現率が依然高い不登校児童生徒の解消に向けた取組を進める。 ・未然防止に向け、早期発見、早期対応を行う。 ・貧困状態にある子どもに対する教育の機会均等の実現を図る。 ・市立幼稚園・小学校・中学校の建物について、将来的にも経済的な管理を計画的に実施するため、予防保全型の修繕による維持管理への転換や施設更新を計画的に行う。	重点目標項目を実現するため行う活動や手段 ・府内検討委員会を開催する。 ・幼保の各々が持つ課題を知り、相互に理解・研修が行える機会を設定する。 ・幼保連携推進会議における調査、検討を行う。 ・市適応指導教室(ポットラック)移転に伴う機能を充実させる。 ・学校スクールカウンセラーと臨床心理士の活用による教育相談を充実させる。 ・中学校ブロック小中連携会議を効果的に運用する。 ・キララセンターの配置による学習・生活支援を行う。 ・相談や問い合わせに、支援・援助制度の丁寧な対応と説明をし、教育を受ける環境の整備を行う。 ・公共施設等総合管理計画を踏まえた学校施設長寿命化計画の策定に向けた取組を進める。	

平成28年度
教育部 組織目標設定シート

今年度の目標設定			
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)
組織の基本方針又は使命	組織の課題のうち今年度取り組むものを優先順に	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段
	6.中学校昼食のあり方の検討	・デリバリー方式による注文弁当斡旋事業について再評価を行うとともに、生徒や保護者の現在のニーズを把握し、幅広く望ましい昼食のあり方を検討する。	・検討委員会を設置し、中学校昼食のあり方について検討を進める。
	7.留守家庭児童会開設時間見直し	・保護者ニーズに応えるため、留守家庭児童会の開設時間の検討を行う。	・開設時間延長に係る人員及び経費等の算出や、利用状況の把握を行い、変更に向けた準備を進める。
	8.施設使用料の見直し(学校体育館照明料)	・コストの負担の公平性や公正性を確保するため、公共サービスの提供に要した費用の負担を求め、受益者負担の適正化を図る。	・徴収方法等についての検討 ・関係例規の整備 ・広報等周知